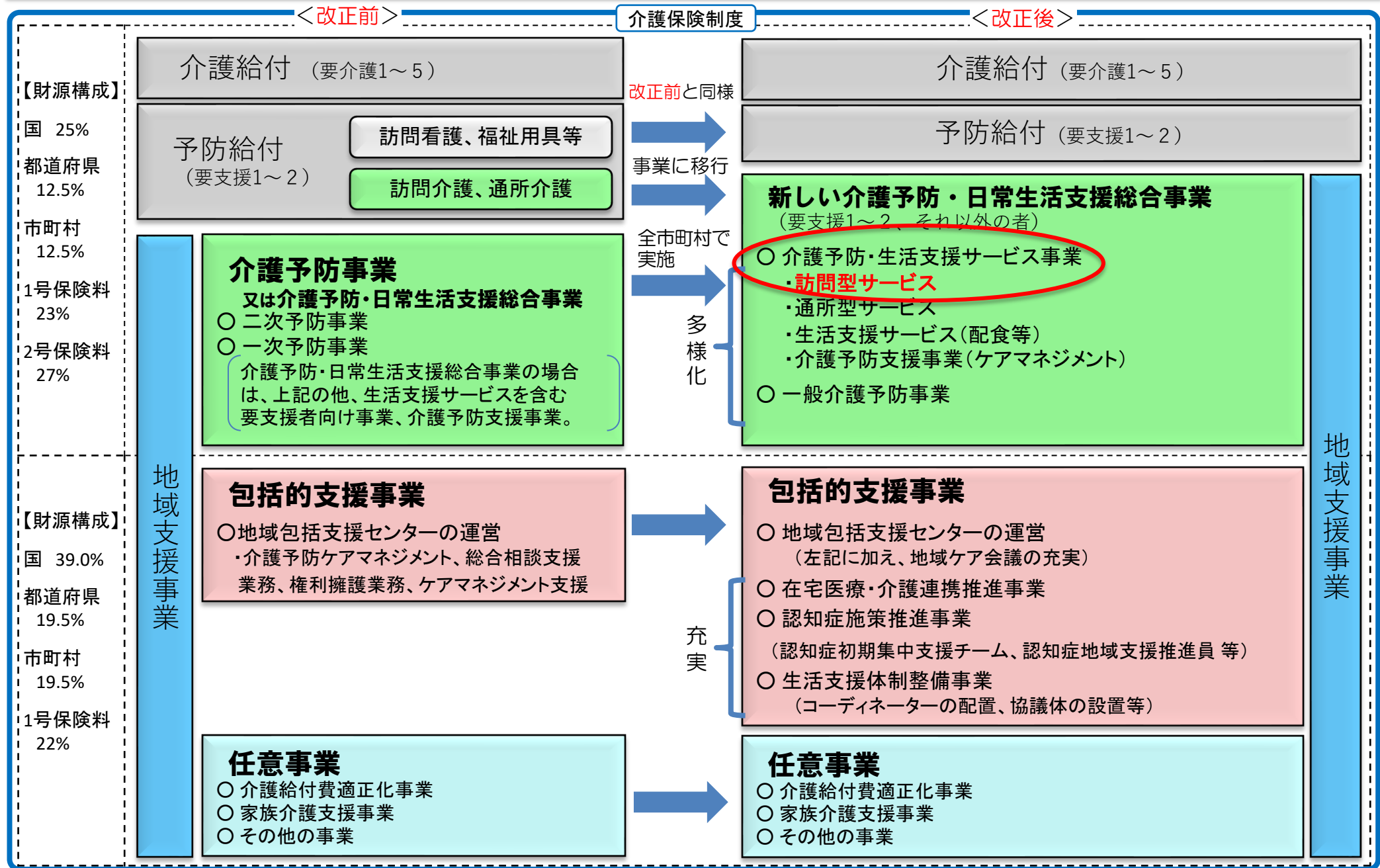


高知市訪問型サービスC事業 の概要について

高知市基幹型地域包括支援センター

地域支援事業の全体像



※厚生労働省資料を一部改変

総合事業を構成する各事業の内容及び対象者

(1) 介護予防・生活支援サービス事業(サービス事業)

- 対象者は、制度改正前の要支援者に相当する者。
 - ① 要支援認定を受けた者
 - ② 基本チェックリスト該当者(事業対象者)

事業	内容
訪問型サービス	要支援者等に対し、掃除、洗濯等の日常生活上の支援を提供
通所型サービス	要支援者等に対し、機能訓練や集いの場など日常生活上の支援を提供
その他の生活支援サービス	要支援者等に対し、栄養改善を目的とした配食や一人暮らし高齢者等への見守りを提供
介護予防ケアマネジメント	要支援者等に対し、総合事業によるサービス等が適切に提供できるようケアマネジメント

- ※ 事業対象者は、要支援者に相当する状態等の者を想定。
- ※ 基本チェックリストは、支援が必要だと市町村や地域包括支援センターに相談に来た者に対して、簡便にサービスにつなぐためのもの。
- ※ 予防給付に残る介護予防訪問看護、介護予防福祉用具貸与等を利用する場合は、要支援認定を受ける必要がある。

(2) 一般介護予防事業

- 対象者は、第1号被保険者の全ての者及びその支援のための活動に関わる者。

事業	内容
介護予防把握事業	収集した情報等の活用により、閉じこもり等の何らかの支援を要する者を把握し、介護予防活動へつなげる
介護予防普及啓発事業	介護予防活動の普及・啓発を行う
地域介護予防活動支援事業	住民主体の介護予防活動の育成・支援を行う
一般介護予防事業評価事業	介護保険事業計画に定める目標値の達成状況等を検証し、一般介護予防事業の評価を行う
地域リハビリテーション活動支援事業	介護予防の取組を機能強化するため、通所、訪問、地域ケア会議、住民主体の通いの場等へのリハビリ専門職等による助言等を実施

①訪問型サービス ※ 市町村はこの例を踏まえて、地域の実情に応じた、サービス内容を検討する。

基準	現行の訪問介護相当	多様なサービス			
サービス種別	①訪問介護	②訪問型サービスA (緩和した基準によるサービス)	③訪問型サービスB (住民主体による支援)	④訪問型サービスC (短期集中予防サービス)	⑤訪問型サービスD (移動支援)
サービス内容	訪問介護員による身体介護、生活援助	生活援助等	住民主体の自主活動として行う生活援助等	保健師等による居宅での相談指導等	移送前後の生活支援
対象者とサービス提供の考え方	<p>○既にサービスを利用しているケースで、サービスの利用の継続が必要なケース</p> <p>○以下のような訪問介護員によるサービスが必要なケース (例)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知機能の低下により日常生活に支障がある症状・行動を伴う者 ・退院直後で状態が変化しやすく、専門的サービスが特に必要な者 等 <p>※状態等を踏まえながら、多様なサービスの利用を促進していくことが重要。</p>	<p>○状態等を踏まえながら、住民主体による支援等「多様なサービス」の利用を促進</p>		<ul style="list-style-type: none"> ・体力の改善に向けた支援が必要なケース ・ADL・IADLの改善に向けた支援が必要なケース <p>※3~6ヶ月の短期間で行う</p>	訪問型サービスBに準じる
実施方法	事業者指定	事業者指定／委託	補助（助成）	直接実施／委託	
基準	予防給付の基準を基本	人員等を緩和した基準	個人情報の保護等の最低限の基準	内容に応じた独自の基準	
サービス提供者(例)	訪問介護員(訪問介護事業者)	主に雇用労働者	ボランティア主体	保健・医療の専門職(市町村)	

高知市訪問型サービスC事業の目的

- ▶ 高齢者が住み慣れた自宅や地域で、できる限り自立した生活を送ることができるよう、理学療法士・作業療法士を自宅に派遣し、
- ▶ 生活機能の向上や
- ▶ 身体機能維持のために、地域の体操会場や地域の社会資源への参加を支援する

事業の対象：事業対象者，要支援1，要支援2

高知市訪問型サービスC事業

住み慣れた家で、できるだけ自立した生活が送れるように支援します。
 具体的には、リハビリテーション専門職を短期間派遣し、家での動きや生活の工夫についてのアドバイスや、外出方法を一緒に考え、地域の活動（趣味や介護予防の体操など）に参加できるように支援します。

【対象者】 ・退院後などで一時的に体力が衰えている人
 ・一人での家事や外出が不安な人
 ・元気になって、地域での活動に参加したい人

要支援1、要支援2、事業対象者の方が対象です



【支援の流れ】 お住まいの地区を担当する地域包括支援センター、もしくは担当のケアマネジャーまでご相談下さい。

皆でどうすればよいか知恵を出し合って、一緒に考えます。

リハビリ専門職と一緒にできることに挑戦します。

終了から3～6か月後をめどに、変わらない生活が送れているか確認します。

訪問・面接

地域ケア会議・担当者会

プラン作成

個別訪問支援

目標達成状況確認

モニタリング

相談内容、お体の状況、家の環境を確認します。

具体的に何をするのか計画を立て、目標を立てます。

リハビリ専門職に関わってもらって、どのように生活が変わったのか確認します。

概ね3か月以内

終了

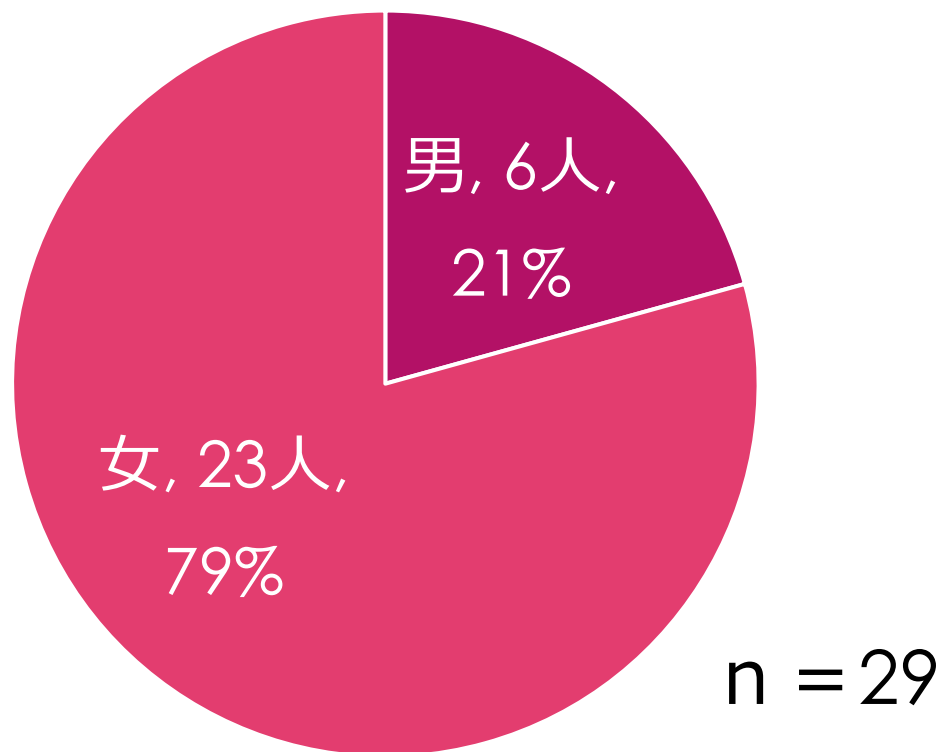
令和3年度訪問型サービスC事業 実施状況について

(令和3年4月～令和4年3月末時点)

高知市基幹型地域包括支援センター

申請狀況 (性別)

性別



申請状況（年齢層）

平均年齢
81.3歳

年齢層

64歳以下, 2人, 7%

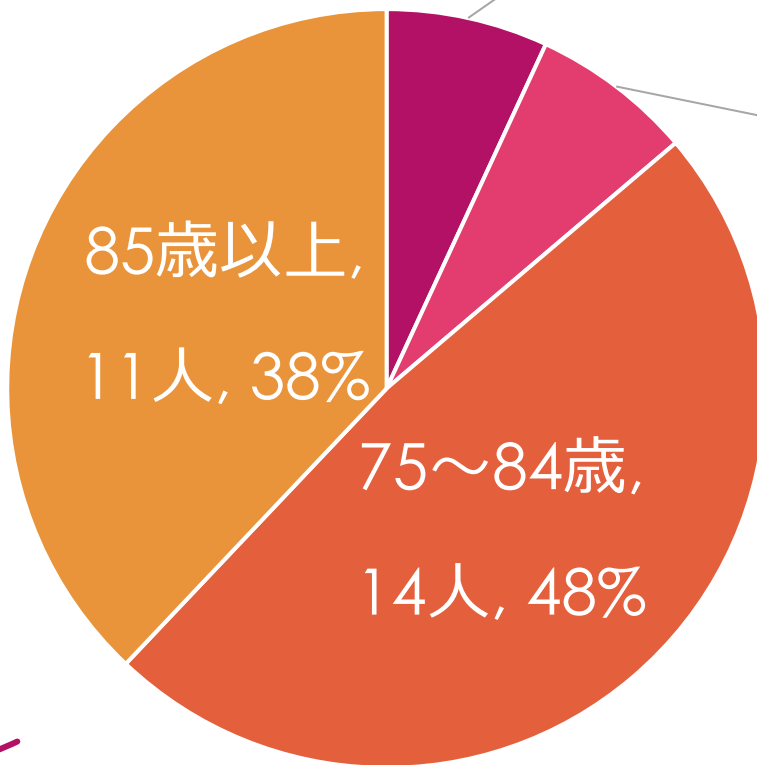
65~74歳,
2人, 7%

85歳以上,
11人, 38%

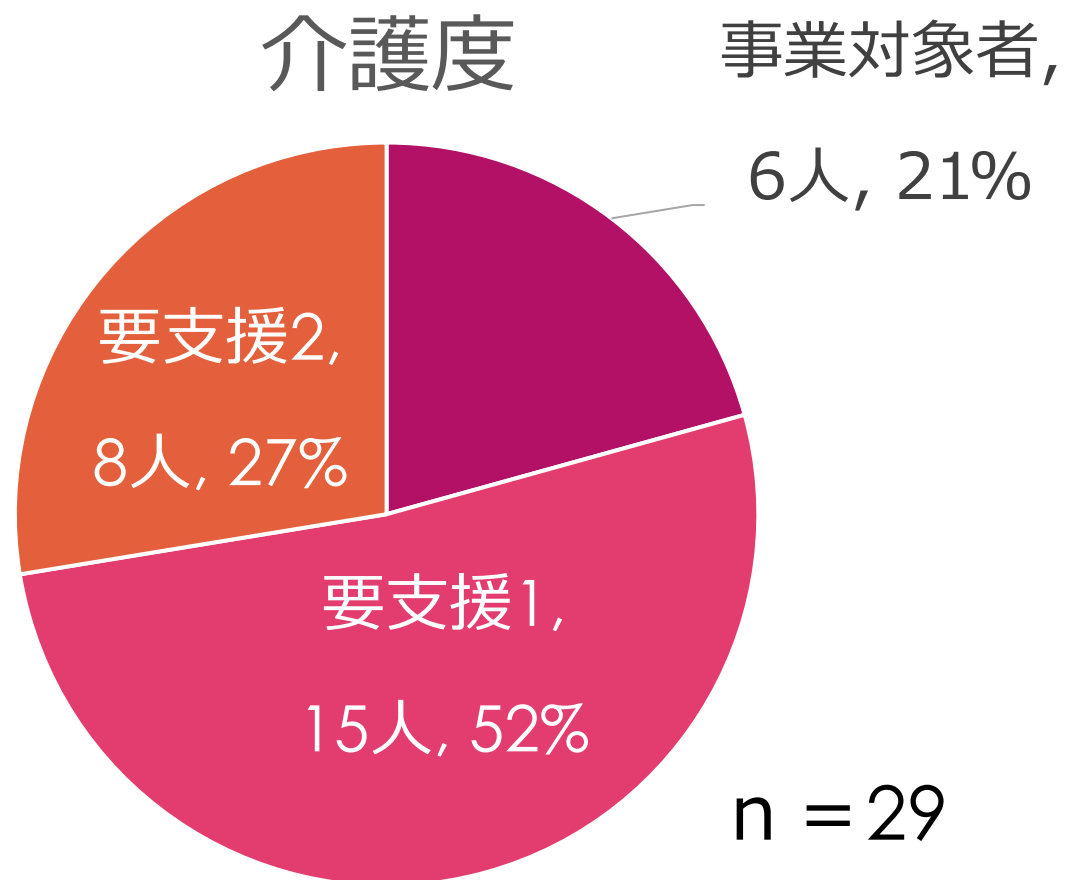
75~84歳,
14人, 48%

n = 29

86%が
後期高齢者

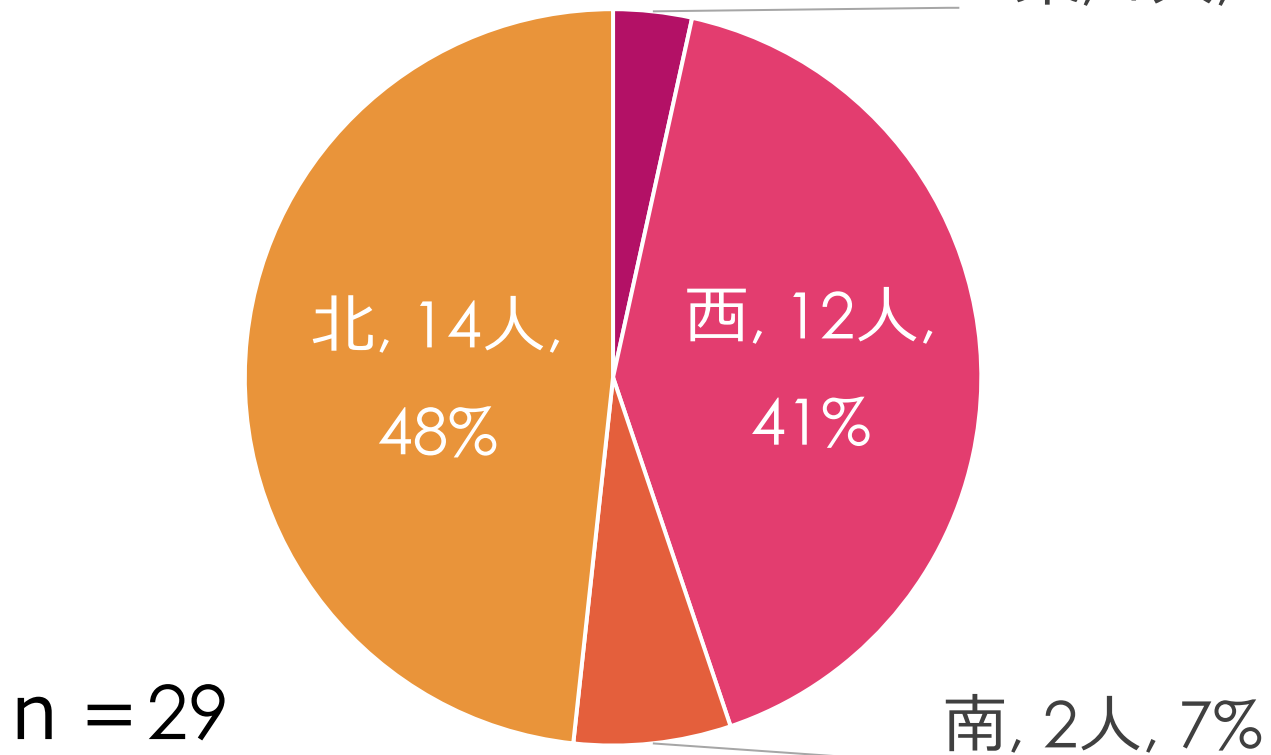


申請狀況（介護度）



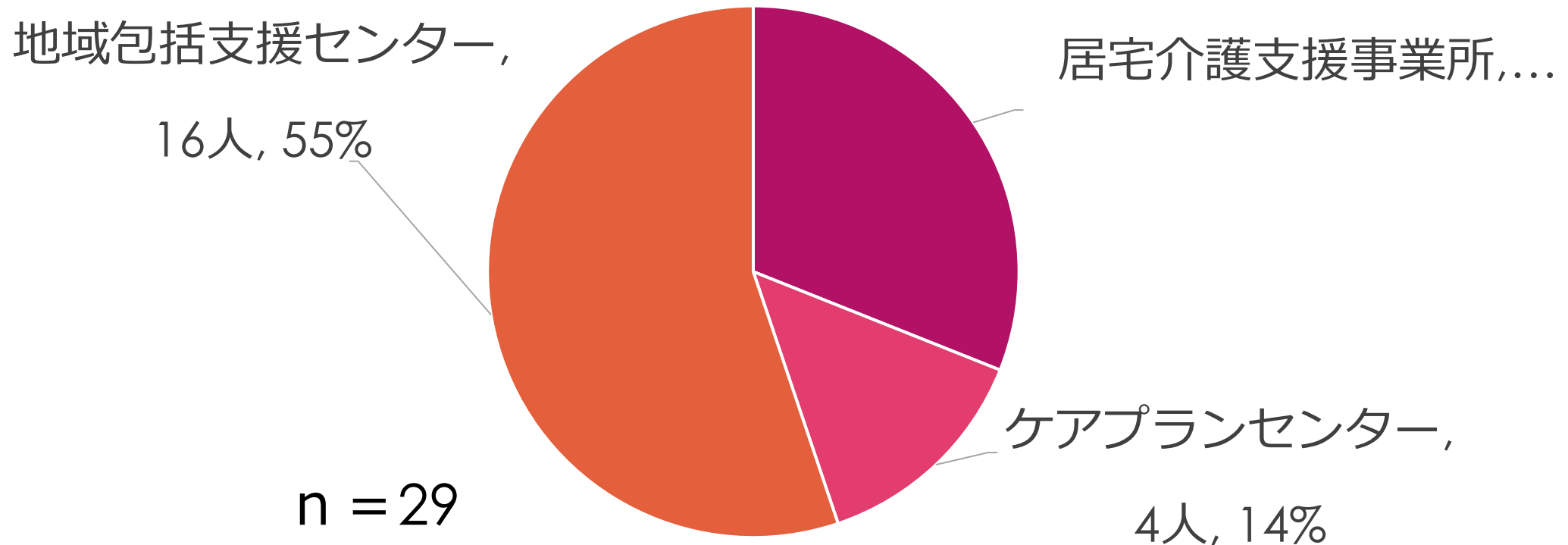
申請状況（ブロック別）

ブロック別実施状況



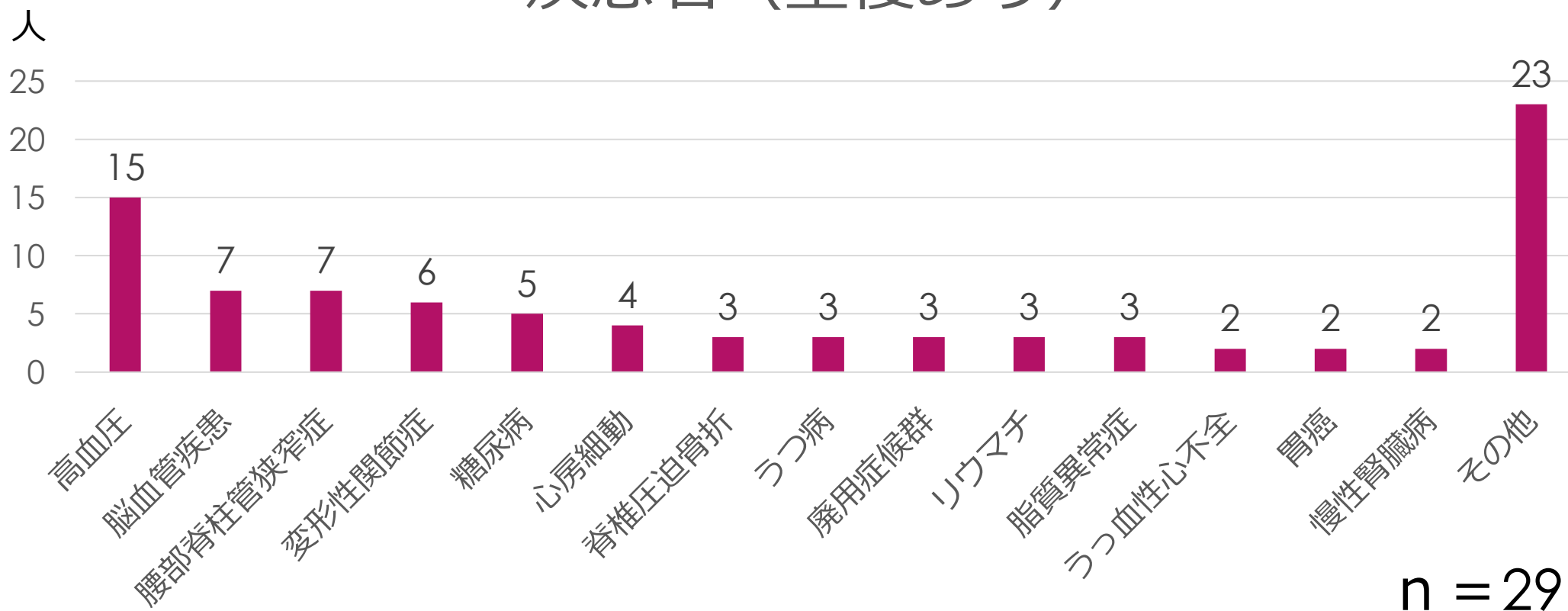
申請状況（申請窓口）

申請窓口



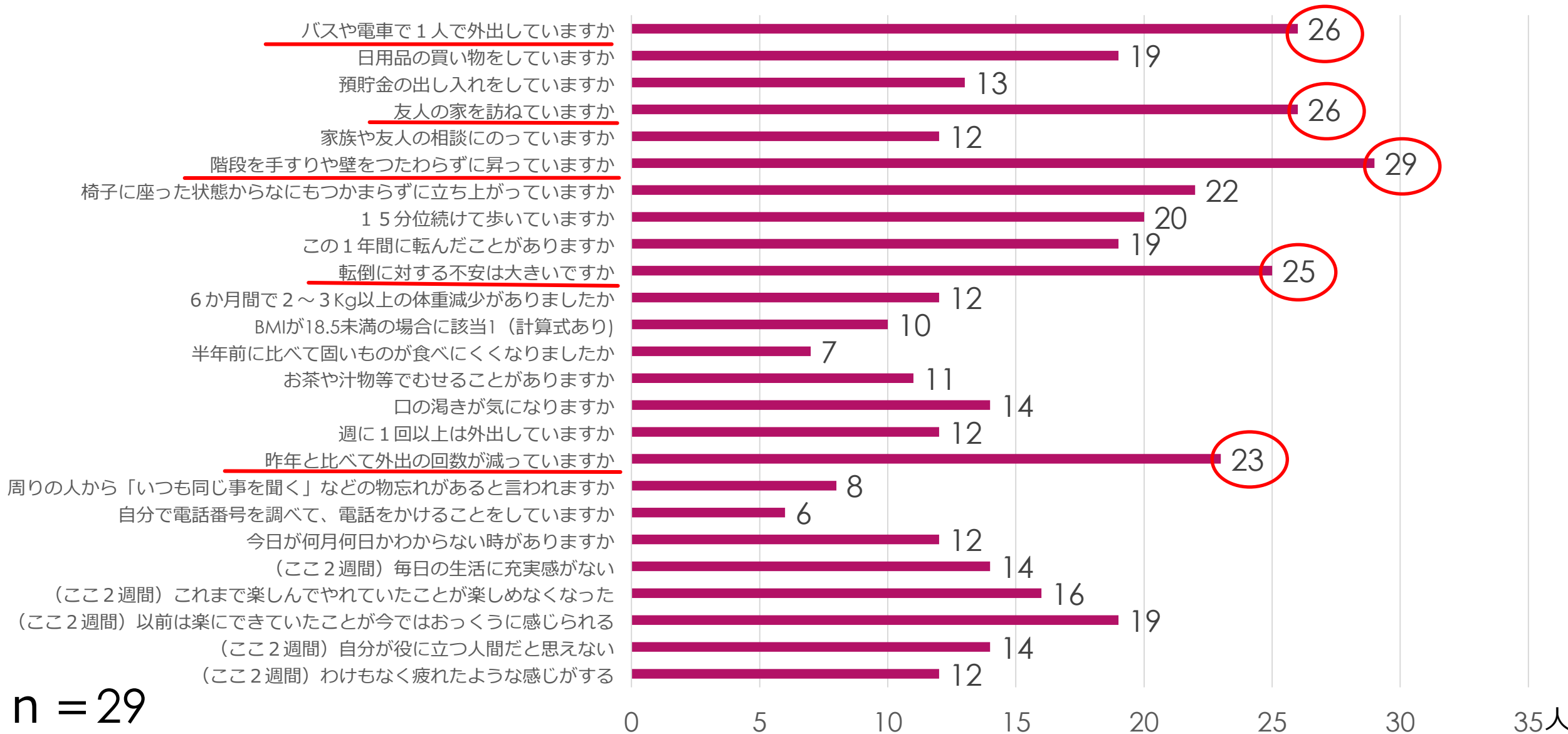
申請状況（疾患名（重複あり））

疾患名（重複あり）



申請時基本チェックリストの該当項目

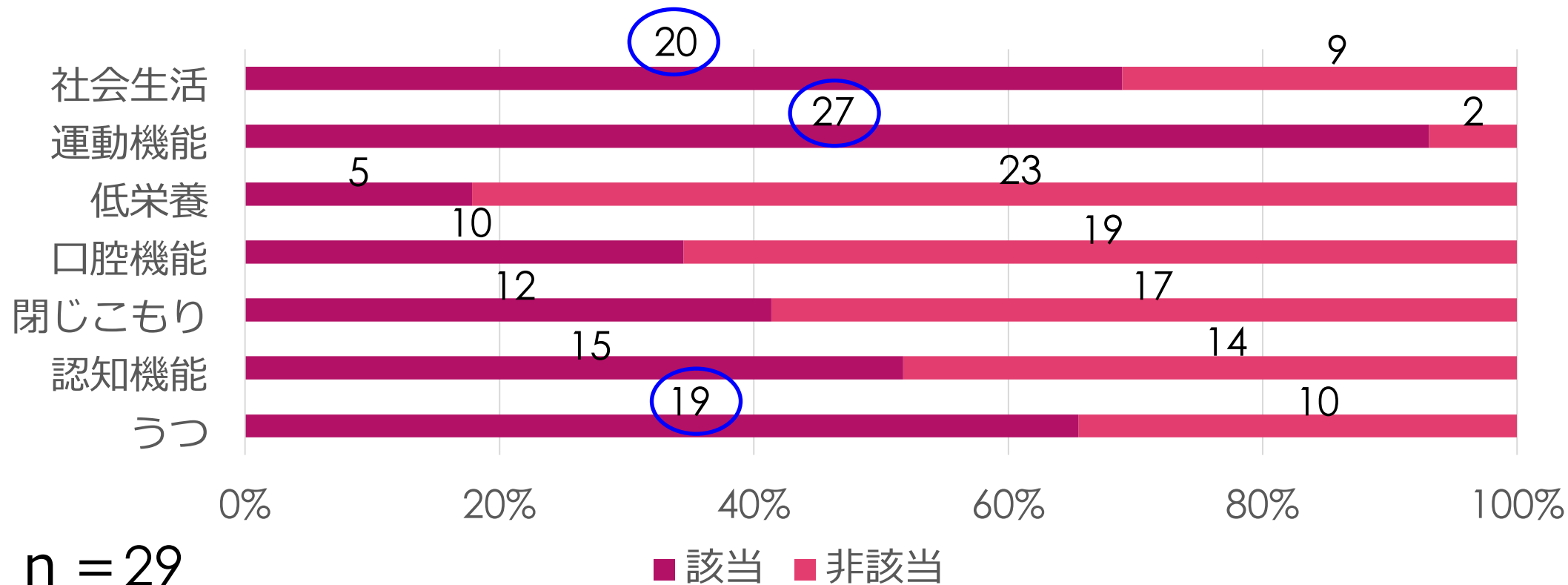
申請時基本チェックリストの該当項目



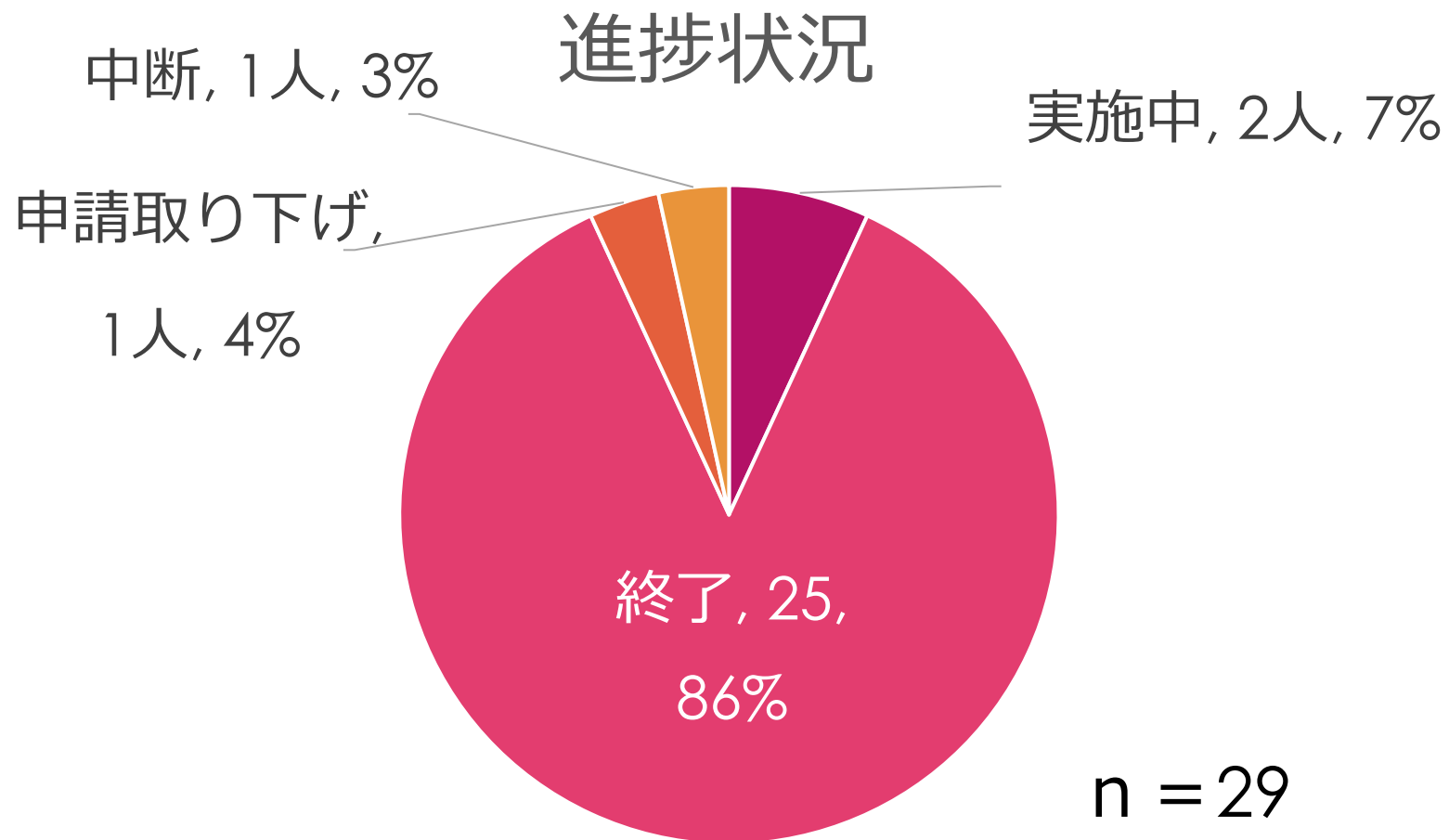
n = 29

基本チェックリストの該当項目

基本チェックリストの該当項目



進捗状況

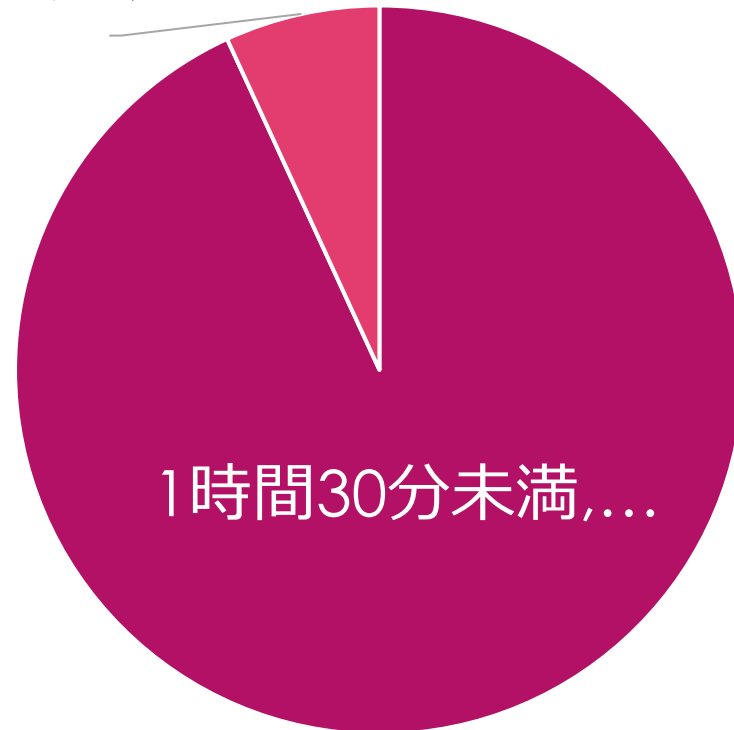


支援時間

1回あたりの平均は56分

支援時間

1時間30分以...



1時間30分未満,...

支援時間

最長130分,
最短20分

支援時間別割合

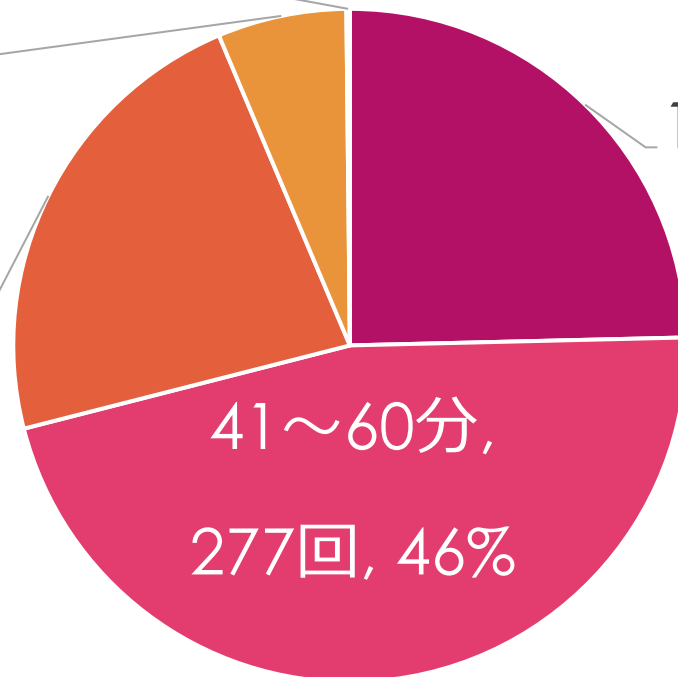
121分以上, 1回, 0%

91~120分,

37回, 6%

61~90分,

135回, 23%

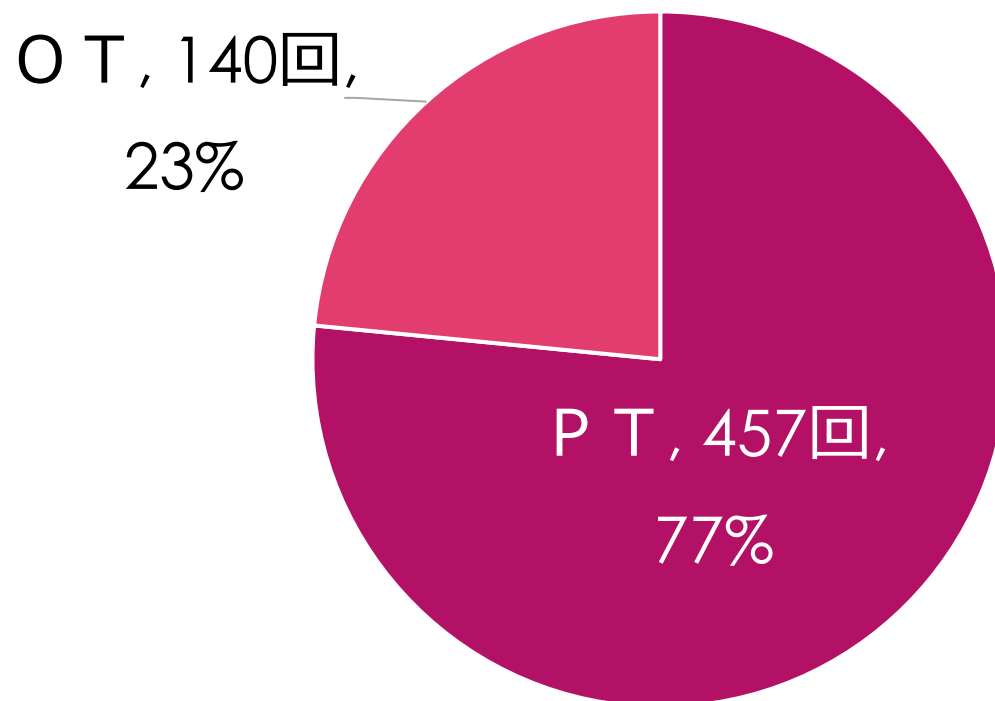


0~40分,
147回, 25%

41~60分,
277回, 46%

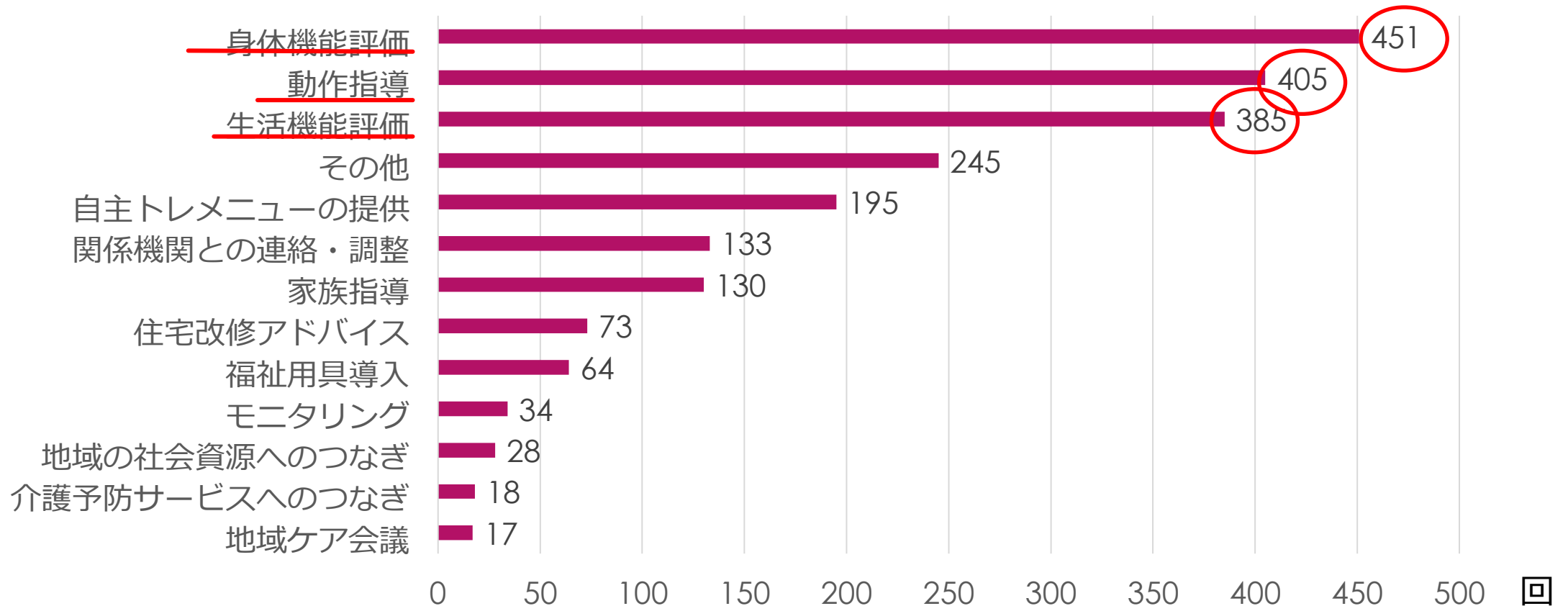
実施専門職の状況

実施専門職の割合

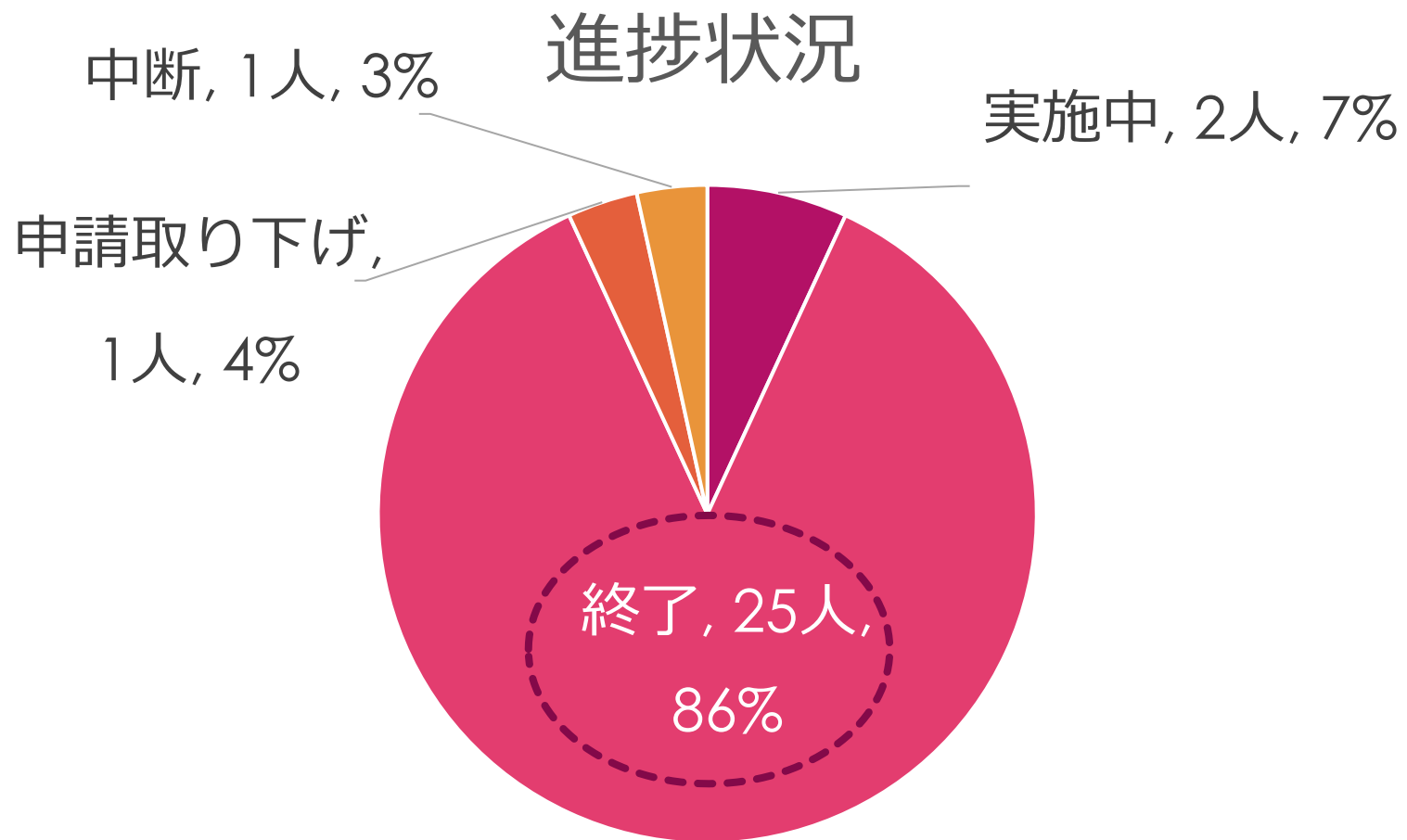


支援内容（実施報告書より）

リハ専門職の支援内容（実施報告書より）



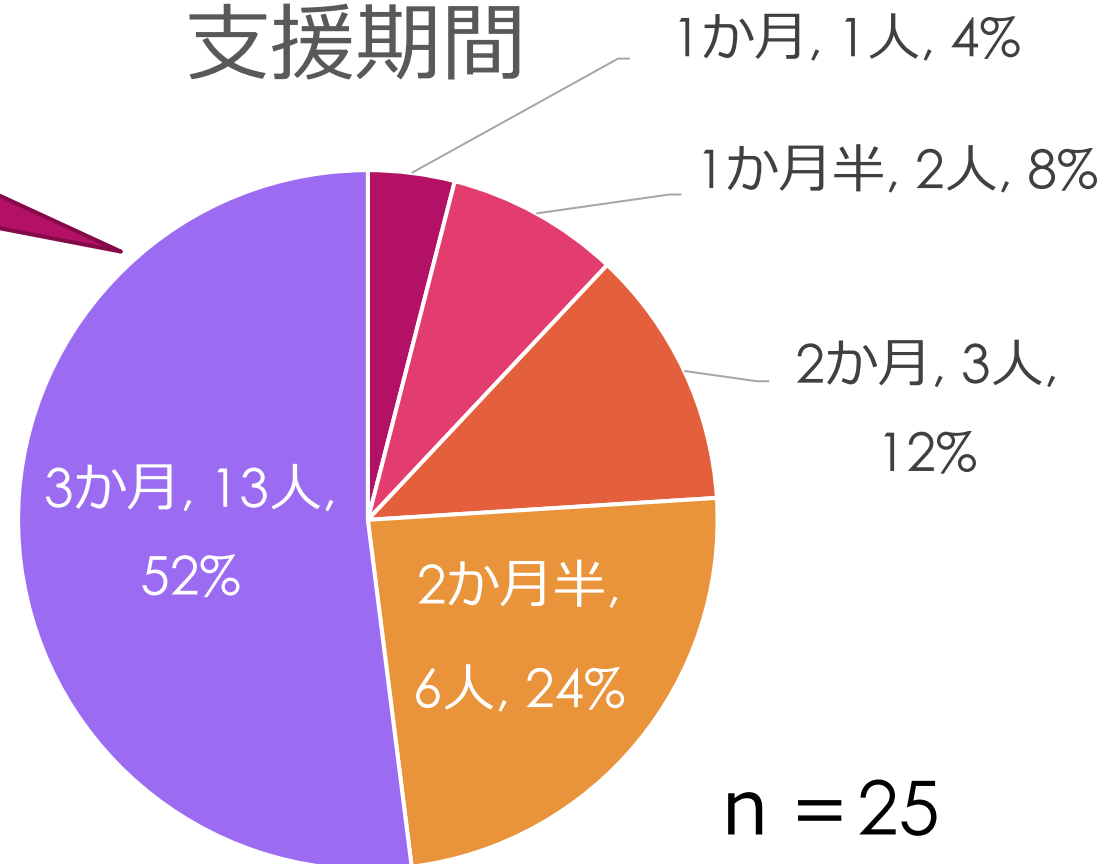
進捗状況



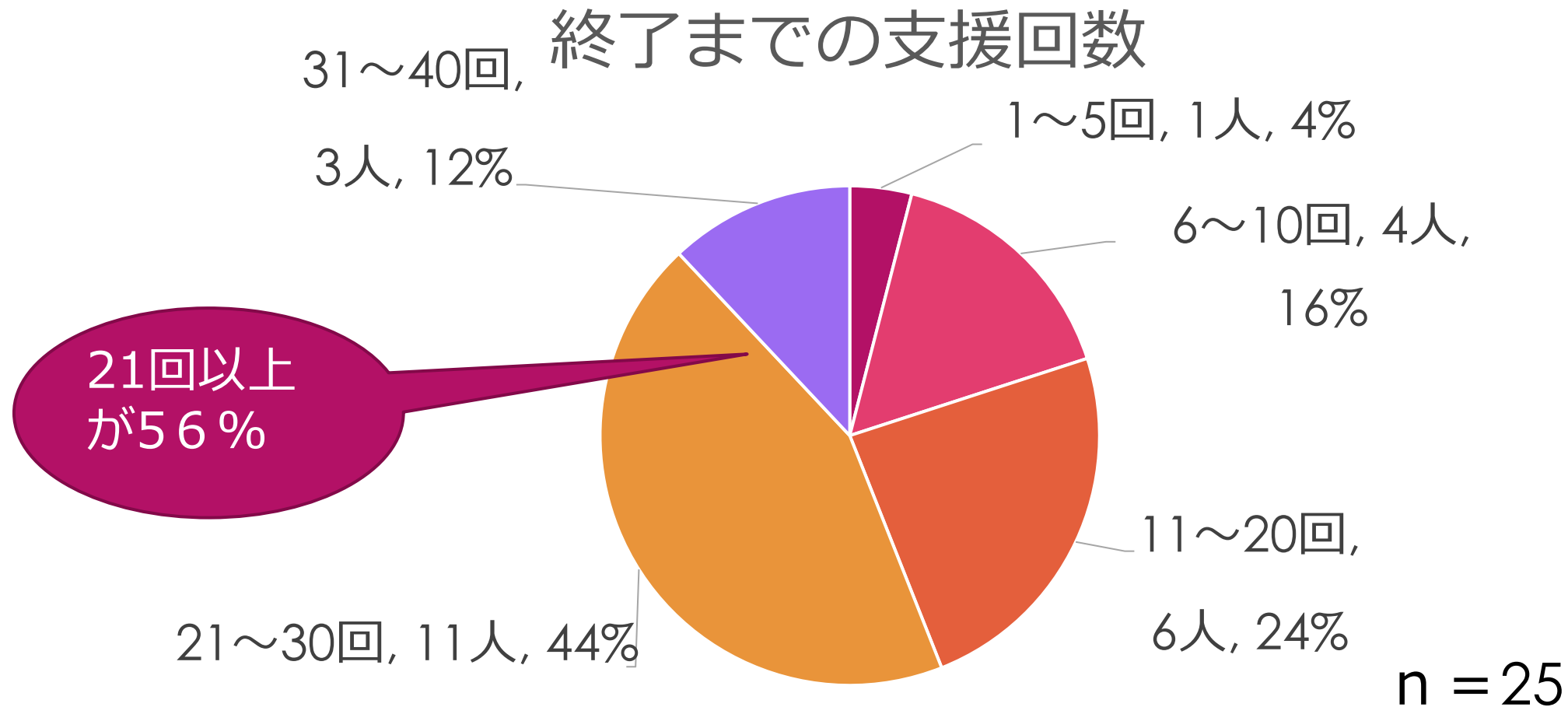
終了までの支援期間

2～3か月で
全体の88%

支援期間



終了までの支援回数

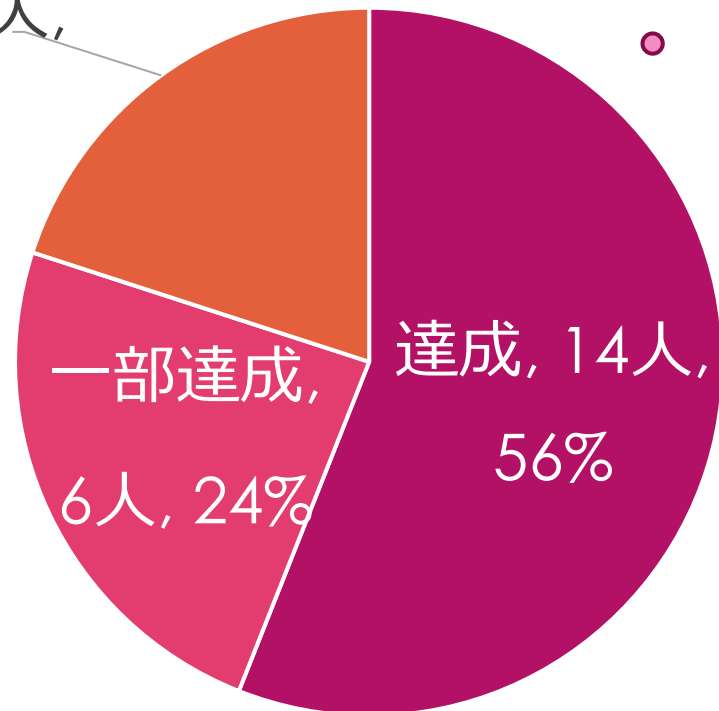


目標達成状況

一部達成も入れると
80%が目標を達成
している

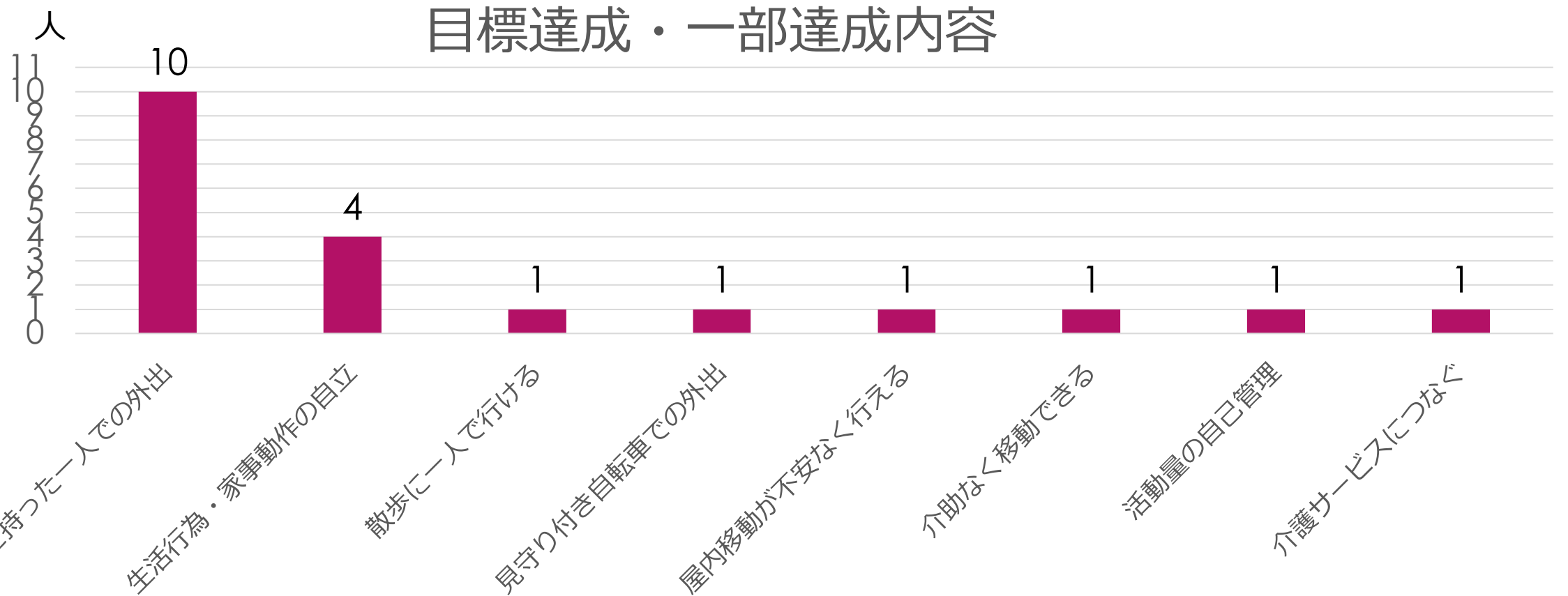
終了者の目標の達成状況

未達成, 5人,
20%



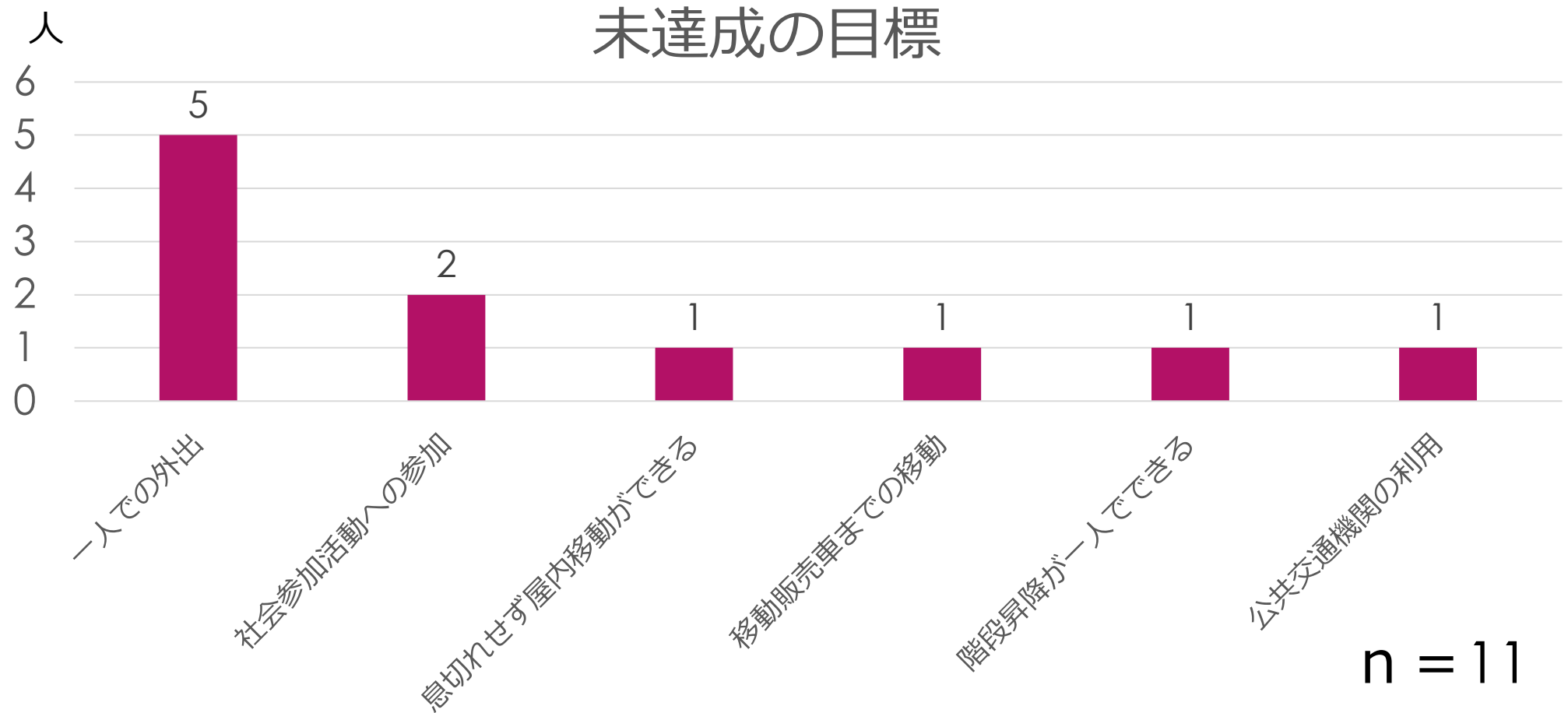
n = 25

終了者の目標達成内容



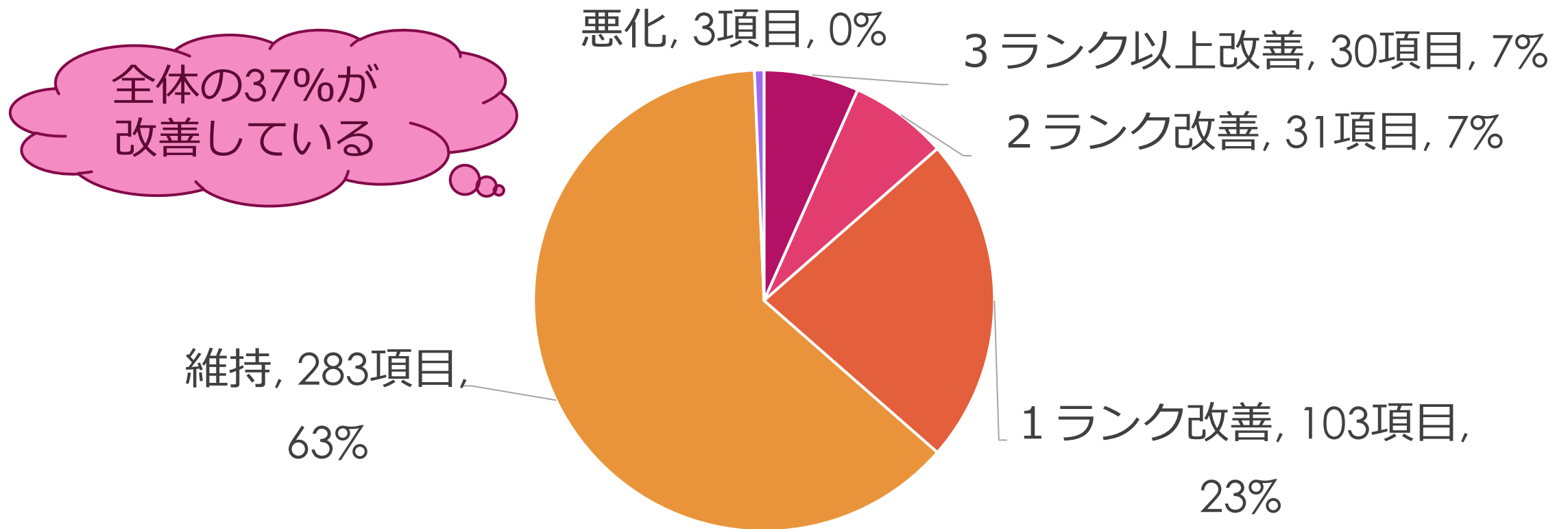
n = 20

終了者の未達成の目標



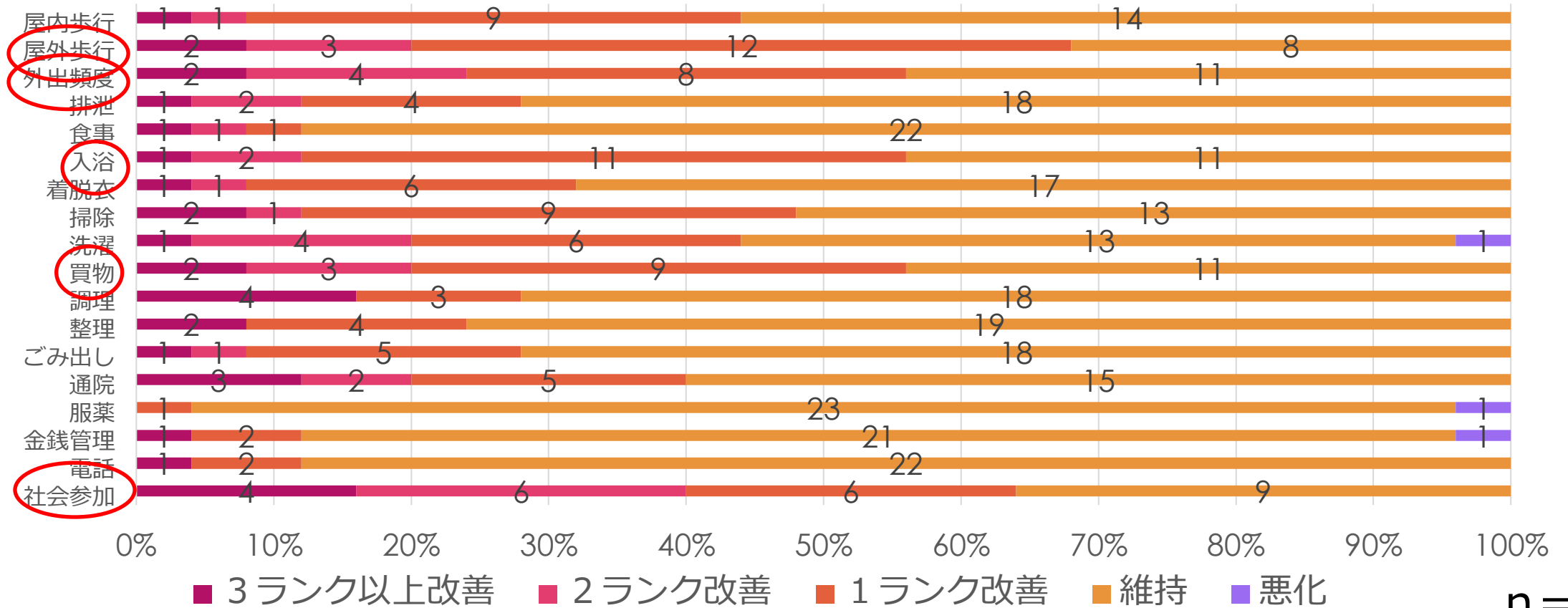
生活機能評価表（18項目）の改善状況（重複）

生活機能評価表（18項目）の改善状況



生活機能評価項目（18項目）ごとの改善状況

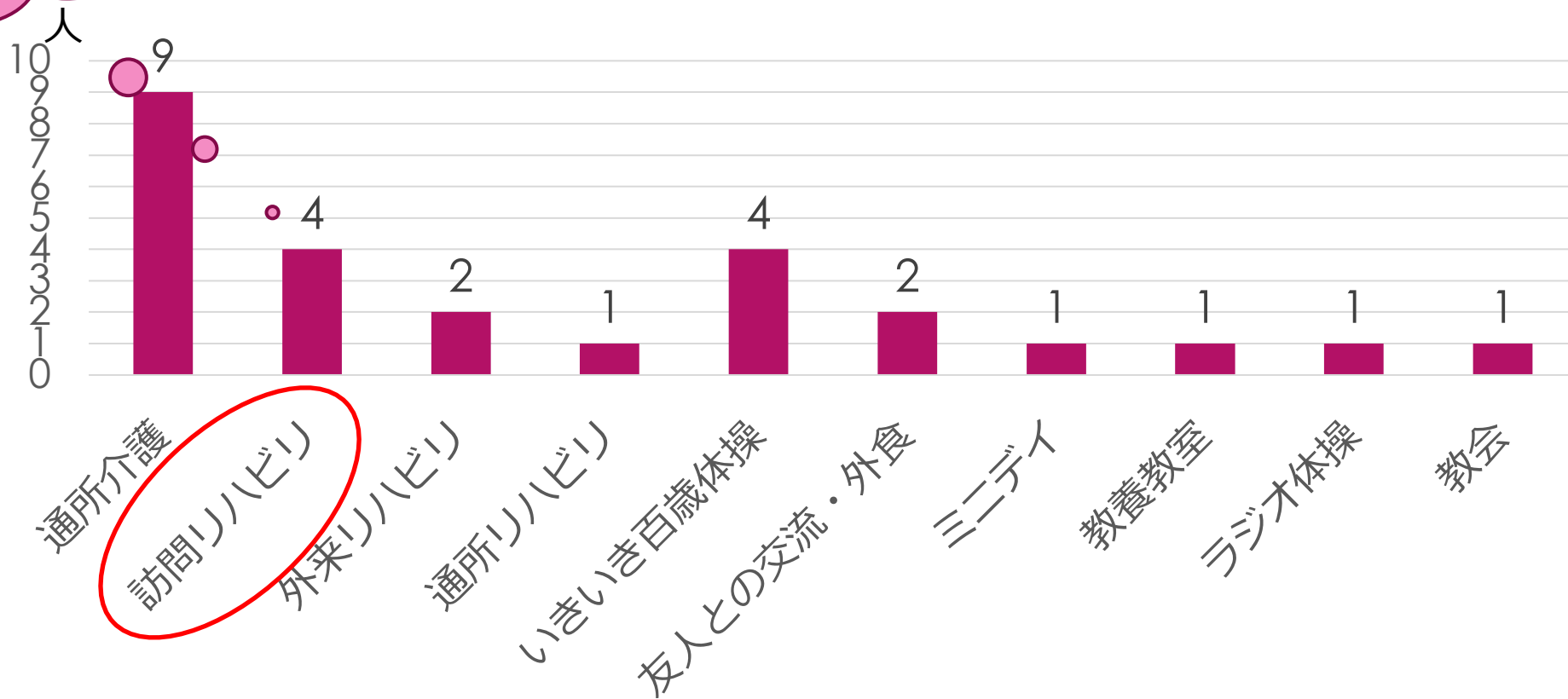
生活機能評価項目（18項目）ごとの改善状況



終了後のサービス利用状況

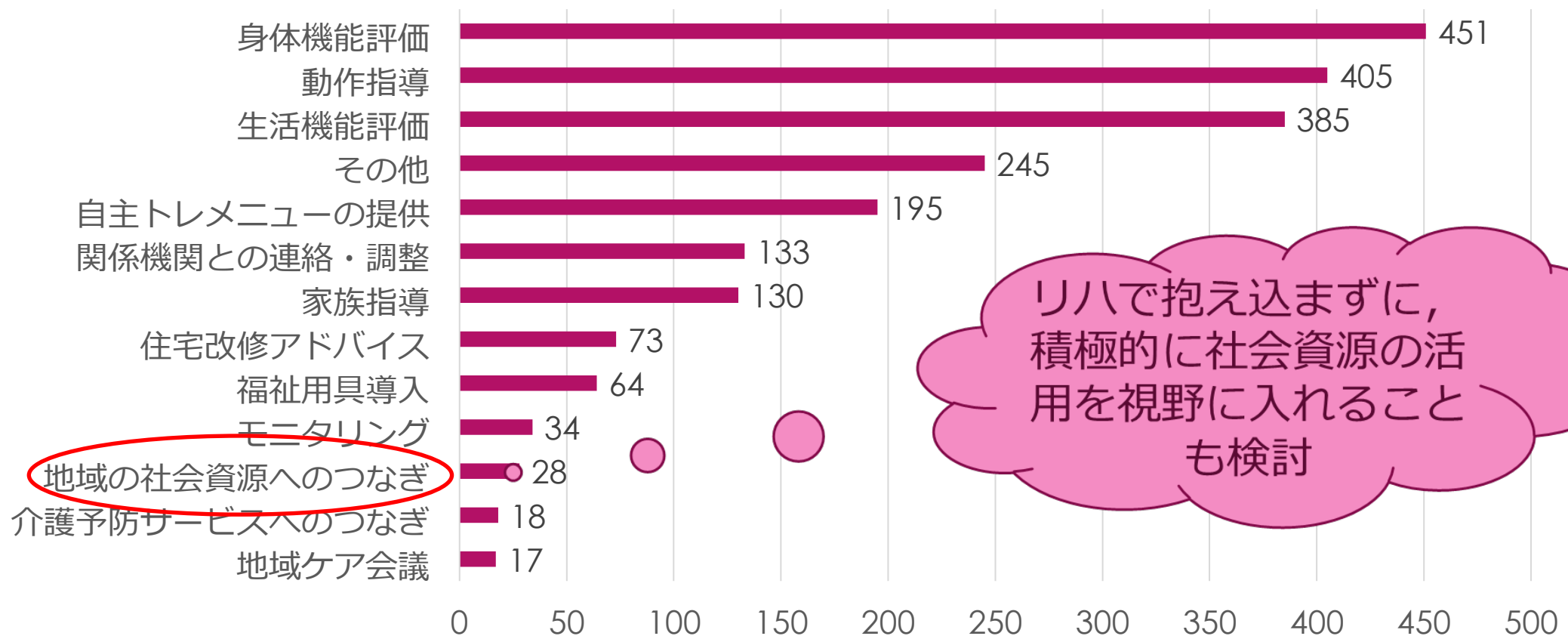
全体の16%
がリハ継続

フォーマル・インフォーマルサービスの利用状況



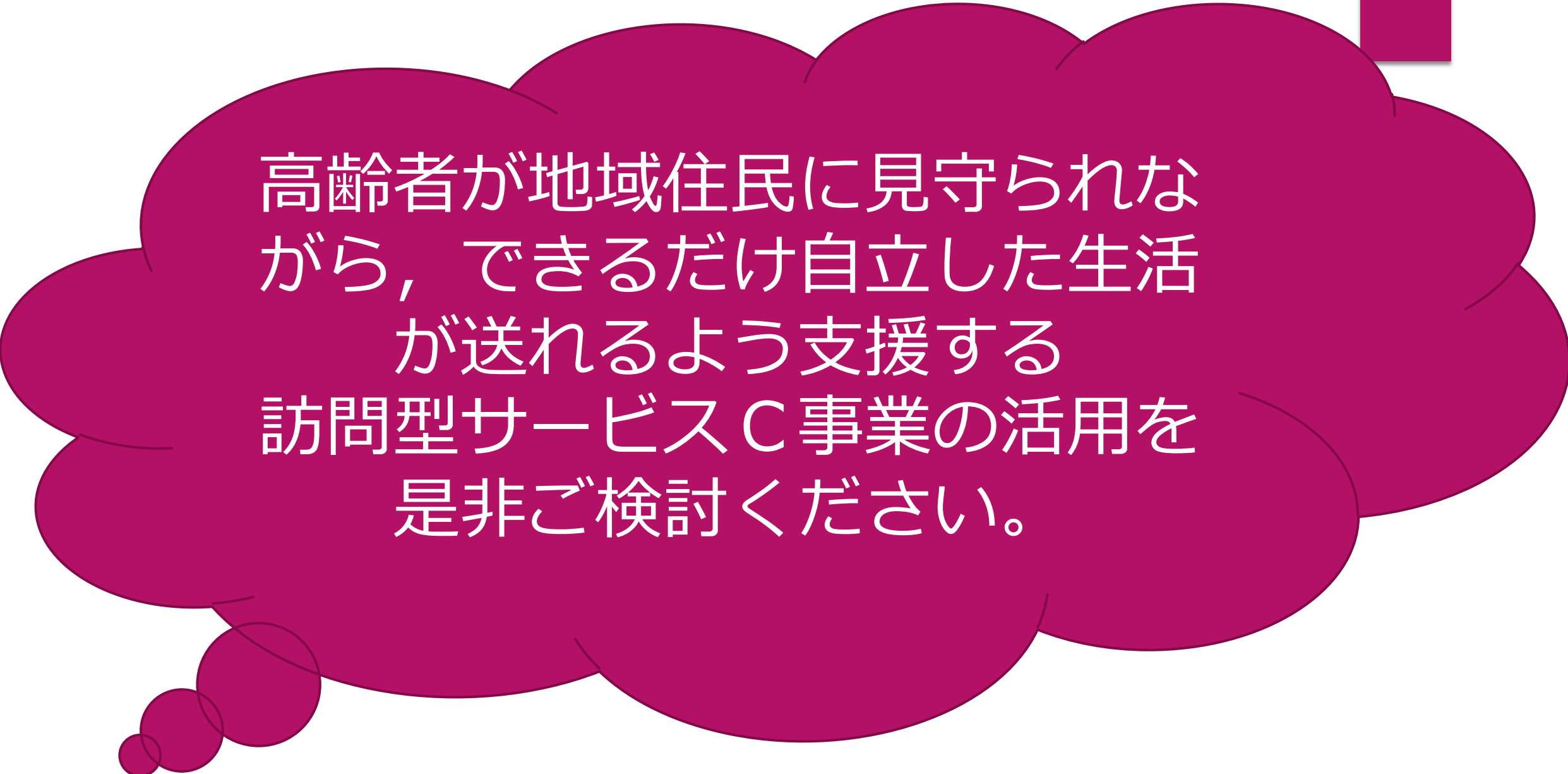
支援内容（実施報告書より）

リハ専門職の支援内容（実施報告書より）



運動する機会を単に提供するものではなく 生活機能向上を目指す

- ▶ 3か月程度の短期間で生活機能を改善させていく短期集中予防サービス
- ▶ 病院内での自立と在宅生活のギャップ
- ▶ 退院前訪問ができない，在宅生活の改善可能性に迷ったら，予防サービス導入前に訪問C利用を検討する
- ▶ 改善の可能性をリハスタッフが見極めながら，必要な介護サービスにつないでいく役割も担う（必要なサービスを必要な人に提供する）



高齢者が地域住民に見守られながら、できるだけ自立した生活が送れるよう支援する
訪問型サービスC事業の活用を
是非ご検討ください。